

(第3種郵便物認可)

2019年(令和元年)9月27日(金曜日)

言

書

糸



ステップを踏みながら歌い、心をつにした(掛川市の美感ホールで)



ダンスの練習をするパレットの部員



変わる部活動②

掛川の地域部活 「パレット」

♪ (こ)はふるさと♪

掛川市亀の甲の美感ホールで
 今年12日、地域部活「掛川未来
 創造部 Palette (パレ
 ト)」の部員14人が美しいハー
 モニーを響かせた。普段はダン
 スや台本作りなどチームごとに

活動している部員が集まって歌
 の練習をした。講師を務めた劇
 団四季の元団員が「ステップを
 踏んでみて」と指示。部員らの
 気分も乗ってきて、楽しげな一
 体感をみせていた。
 練習の成果は、28日にエコパ
 スタジアムで行われるラグビー
 ・ワールドカップ日本・アイル
 ランド戦の関連イベントとし
 て、JR愛野駅付近に設けられ
 るステージで歌やダンスを披露

生徒の活動選択肢広がる

する予定だ。



パレットは、音楽芸術などを
 通じて生涯学習環境の創造を目
 指す一般社団法人「ふじのくに
 文教創造ネットワーク」が作り、
 昨年、活動を開始した。現在は
 市内の中学校5校の1〜2年生
 男女19人が所属する。
 週に2、3回音楽、演劇、ダ
 ンスを中心に活動している。活
 動は生徒主体で、部員それぞれ
 がダンスの練習をしたり、演劇
 の台本を書いたりする。
 小さい頃からバレエを習って
 いたという市立北中2年の松浦
 もえさん(14)は「通う学校には
 バレエが生かせる部活がなかつ
 た。他の学校の友達ができるし、

バレエを生かせるところもあつ
 て楽しい」と話す。

パレットは吹奏楽やダンスと
 いった特定のジャンルを決めて
 活動する形を取らない。劇団四
 季の元団員をはじめ、声楽家や
 県舞台芸術センターの俳優な
 ど、その分野に経験をもつ人た
 ち計7人が外部講師となり、様
 々な活動に対応している。

文化庁は2018年12月、文
 化部の在り方についての指針を
 策定し、少子化で複数の学校の
 生徒が、拠点校の部活に参加す
 るなどの合同部活の推進を打ち
 出した。指針では、その一例と
 してパレットを挙げ、学校単位
 での活動から地域単位での活動
 を検討するよう求めている。

掛川市内の中学校では、文化
 部といえは吹奏楽部や美術部、
 パソコン部がほとんどで、生徒
 の選択肢は限られる。市教育委
 員会の担当者は「少子化のなか、
 演劇などがやりたくても、一つ
 の学校だけでは人数が少なく活
 動が難しい。地域部活であれば
 生徒の選択肢の幅が広がる」と
 期待する。
 一方で、課題もある。交通手
 段が限られる生徒は、親の送り
 迎えがないと参加が難しく、部

個性生かし多彩な表現を

名前の由来は、個性や関心などそれぞ
 れ違う「色」を持つ部員が、多彩な表現
 をするという意味を込めて、部員の発案
 で名付けた。火曜、木曜、週末の週2、
 3回、2〜3時間活動している。部費は
 教材費などの実費以外は無料。

員は市内9校のうち5校にとど
 まる。部活を支える人材をどう
 集めるかも課題で、顧問も含め
 パレットの活動を支える6人は
 ボランティアだ。

学校の枠を超えた部活は、運
 動部でも広がっている。磐田市
 は、地域のトップ選手らが学校
 の枠を超えて中学生を指導する
 「磐田スポーツ部活」を201
 6年度からラグビーと陸上で始
 めた。今年度からはアーチェリ
 やトランポリンなどの種目で
 も「レクスボサークル」として
 活動を始めた。磐田市教育委員
 会によると、生徒に好評で、全
 国から視察の予定も入っている
 という。

パレットの顧問を務める斉藤
 勇さん(52)は「文化部でも生徒
 がやりたいことは様々。地域部
 活の取り組みが理解され、子ど
 もたちがやりたいことをやって
 才能を伸ばしたい」と話した。
 (余門知里)

しずおか教育